

限りある資源の有効利用を推進しています

市では、自然エネルギーの活用やごみの再資源化に係る機器等を設置される人に以下の補助金を交付し、地球温暖化対策や資源の有効利用を推進しています。予算に限りがありますので、設置を希望される人は各窓口へお早めにお申し込みください。

●住宅用太陽熱高度利用システム設置補助金 ※着工の2週間前に申請が必要です。

申請者本人が住む市内の住宅に「住宅用太陽熱高度利用システム」を設置する人に対して補助金を交付します。

対象となる機器	集熱媒体を強制循環する太陽集熱器と太陽蓄熱槽から構成される住宅等への設置に適した給湯および冷暖房等の用に供するソーラーシステムを有するもの
補助率・補助限度額	太陽熱高度利用システムおよび当該設備の設置に要する経費の5分の1 限度額／40,000 円
申請に必要なもの	●補助金交付申請書 ●対象システムの見積書 ●設置予定箇所の位置図 ●設置予定箇所の写真 ●納税状況等確認同意書

●住宅用太陽光発電システム設置補助金 ※着工の2週間前に申請が必要です。

申請者本人が住む市内の住宅に「住宅用太陽光発電システム」を設置する人に対して補助金を交付します。

補助率・補助限度額	1キロワットあたり 30,000 円 限度額 /120,000 円
申請に必要なもの	●補助金交付申請書 ●対象システムの見積書 ●設置予定箇所の位置図 ●設置予定箇所の写真 ●納税状況等確認同意書

問総環境課環境政策係 TEL82・3131 (代) FAX82・6622

●住宅用雨水貯留施設設置補助金 ※着工の2週間前に申請が必要です。

申請者本人が住む市内の住宅に「雨水貯留施設」を設置する人に対して補助金を交付します。

対象となる機器	雨水を貯留するための構造をもった施設で、住宅の雨どい等に接続し架台等に固定するもの		
補助率・補助限度額	① 100ℓ以上 500ℓ未満 費用の2分の1 限度額 / 1基 25,000 円	② 500ℓ以上 費用の2分の1 限度額 / 1基 50,000 円	③合併浄化槽等から転用するもの 費用の2分の1 限度額 /50,000 円
申請に必要なもの	●補助金交付申請書 ●対象施設の見積書 ●設置予定箇所の位置図 ●設置予定箇所の写真 ●納税状況等確認同意書		

問総環境課環境保全係 TEL82・3131 (代) FAX82・6622

●生ごみ処理機器等購入費補助金 ※以前、交付を受けた人の再申請は5年経過後に可能となります。

市内の一般家庭ならびに店舗および事業所が購入する生ごみを堆肥化処理する機器と、せん定枝等粉碎機の購入に対して補助金を交付します。

対象となる機器	生ごみ処理機器※		ボカシ容器・コンポスト	せん定枝等粉碎機
補助率・補助限度額	①処理量5キログラム未満 / 日 購入費の2分の1 限度額 /30,000 円	②処理量5キログラム以上 / 日 購入費の2分の1 限度額 /100,000 円	購入費の3分の2 限度額 /3,000 円	購入費の2分の1 限度額 /10,000 円
申請に必要なもの	●補助金交付申請書 ●機種名が明示された領収書（購入後1年以内） ●写真（本体・設置状況の各1枚）			

問総廃棄物対策課廃棄物対策担当 TEL82・3131 (代) FAX82・6622

講座・相談のご案内

①「緑のカーテン講座」

省エネ対策、地球温暖化対策の一環として「緑のカーテン」講座を開催します。「緑のカーテン」は、バルコニーや軒下にヘチマやゴーヤなど植物で作る自然のカーテンです。緑のカーテンで真夏の暑い日差しを避け、エアコンなど冷房費削減などにつなげてみませんか。

●日 時 5月24日（土）午前10時～正午

●場 所 市民活動センター「くるりん広場」2階南会議室

●内 容

①「緑のカーテンと育て方」（講師：NPO 法人 あづみ野風土舎）

②「夏の省エネ対策について」（講師：樋口嘉一さん・環境基本計画推進会議委員）

③受講者にゴーヤ苗を配布（100本限定先着順）

④ゴーヤ茶の試飲

●申し込み 不要

問総環境課環境政策係 TEL82・3131 (代) FAX82・6622

②「犬のワンでも相談」

犬の飼育上の問題に、動物愛護推進員・獣医師・動物愛護会員などが個別に対応します。直接、会場へお出掛けください。

●日 時 毎月第3木曜日 午後1時30分から3時まで

開催日	
平成26年	5月15日、6月19日、7月17日、8月21日、 9月18日、10月16日、11月20日、12月18日
平成27年	1月15日、2月19日、3月19日

●場 所 松本合同庁舎内 会議室等

●費 用 無料

●申し込み 不要

問長野県松本保健福祉事務所 食品・生活衛生課 TEL40・1943 FAX47・9293

アクアピア安曇野

二酸化炭素排出量を削減 消化ガス発電施設の運用開始



運用を始めた消化ガス発電施設

犀川安曇野流域下水道安曇野終末処理場（通称：アクアピア安曇野・豊科田沢）では、下水道汚泥量を減らす過程で発生した消化ガス（主成分：メタン）を燃料とした発電設備を4月から本格的に運用を開始しました。これにより、処理場で使用する全電力の約3割（約150万kWh/年）を賄えるほか、電力会社からの購入電力量を減らすことにより、二酸化炭素排出量を年間約800トンを削減するものです。

問安曇野建設事務所公園下水道課 TEL72・8378 FAX72・8882